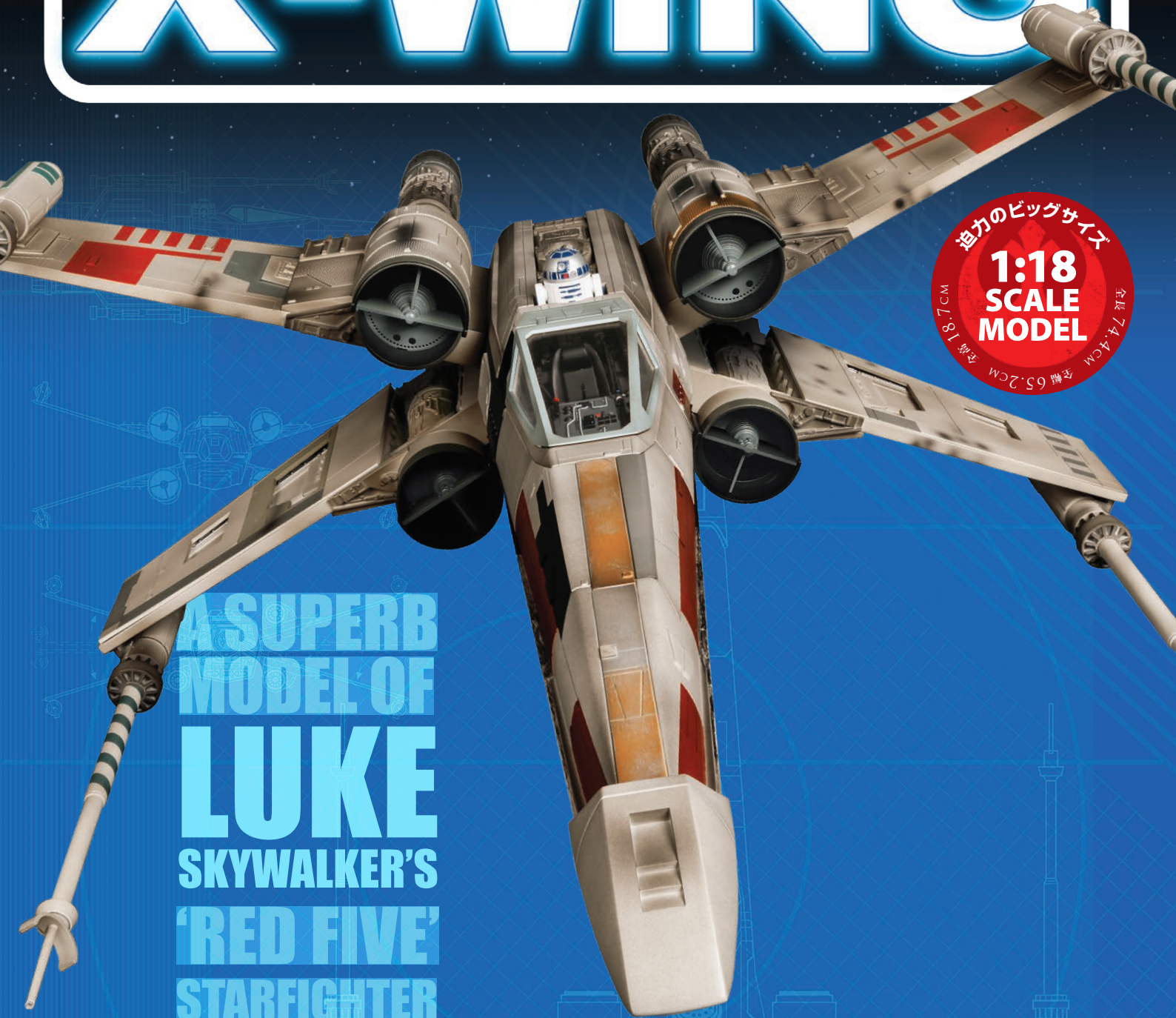


STAR WARS™

BUILD YOUR OWN

24

X-WING



迫力のビッグサイズ
1:18
SCALE
MODEL
全長 74.4cm
全幅 65.2cm
高さ 18.7cm

A SUPERB
MODEL OF
LUKE
SKYWALKER'S
'RED FIVE'
STARFIGHTER



DEAGOSTINI

第24回配本 組立内容

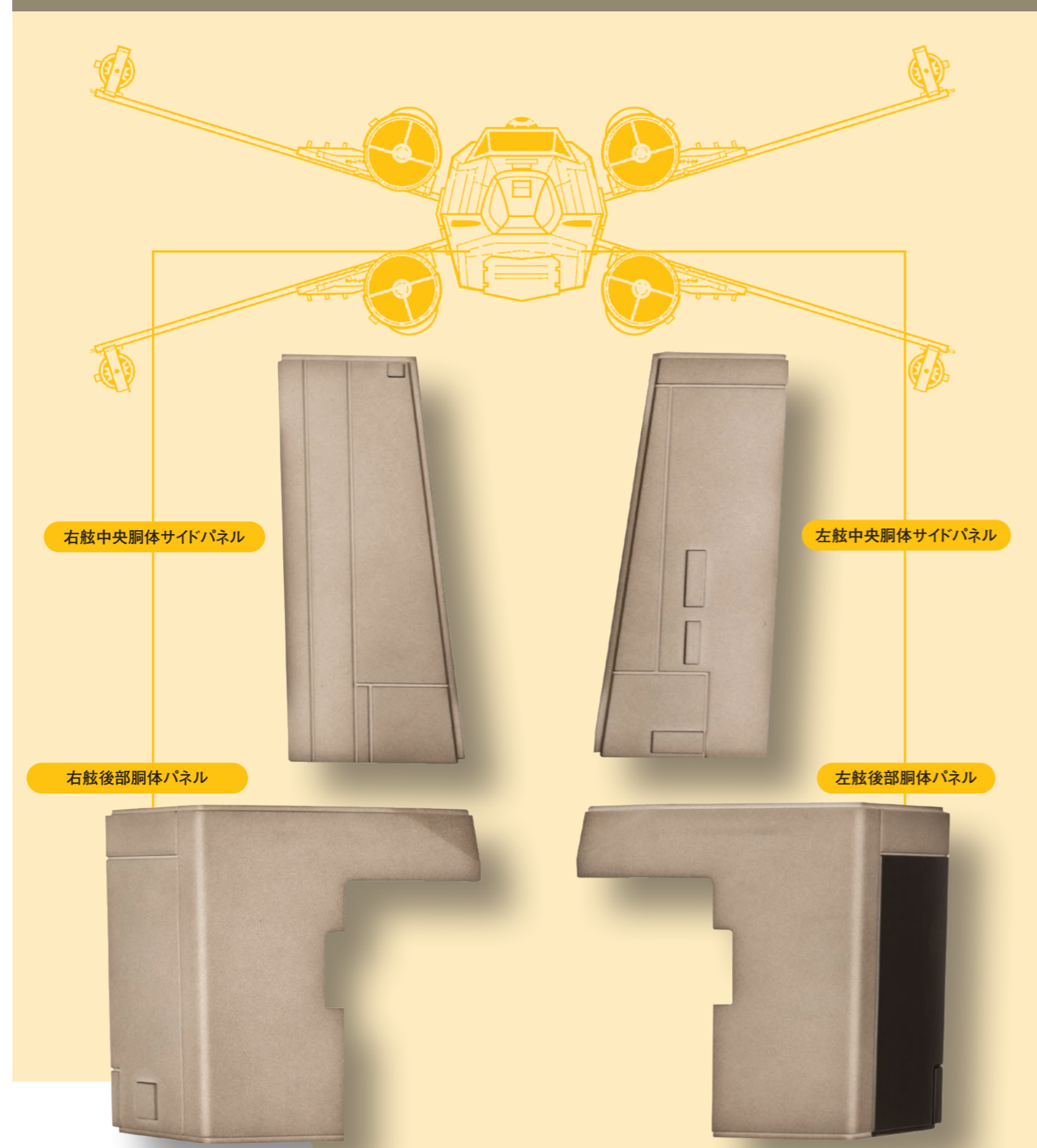
STAGE 93	中央・後部胴体パネル	586
STAGE 94	後部胴体サイドパネル	592
STAGE 95	後部胴体パネル.....	600
STAGE 96	後部ディテールパーツ	606

中央・後部胴体パネル

提供パーツは、コックピットエリア横の左右胴体パネルと、X-wing 後部のハイバードライブ下の外装パーツである。

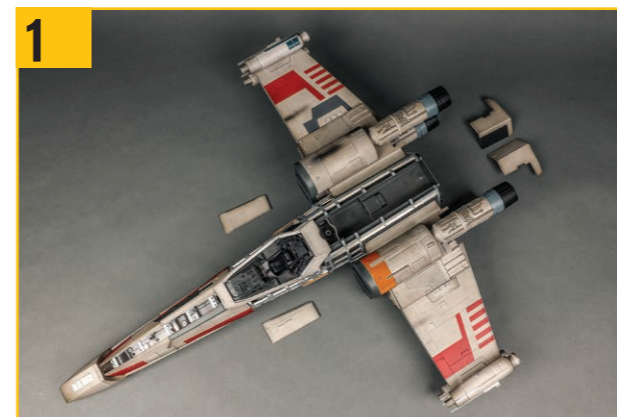
ステージ93の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

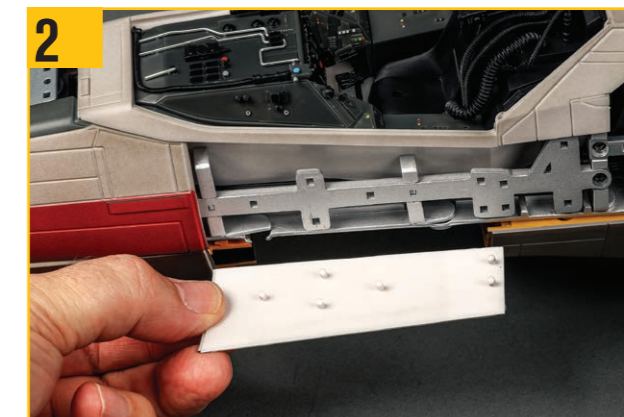


パネルの取り付け

パーツは単純な押し込み式だが、すべての位置決めピンをフレームワークの穴に合わせる必要がある。塗装済みなので、作業面でモデルをこすって塗装を傷つけないように注意しよう。



1 提供されたすべてのパーツを用意する。



2 左舷中央胴体サイドパネルを写真の位置に合わせる。



3 コックピットサラウンドの下に左舷中央胴体サイドパネルの上端を合わせる。



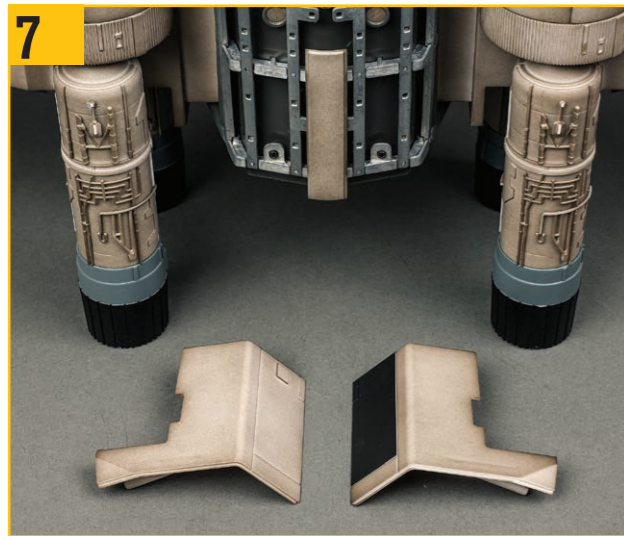
4 ピンをフレームの穴に合わせ、パーツをしっかり押し込む。



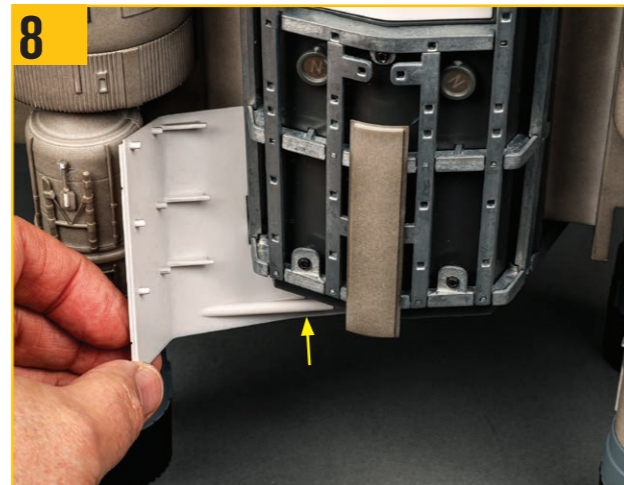
5 左舷中央胴体サイドパネルは写真のようになる。



6 手順2~5と同様に、右舷中央胴体サイドパネルを取り付ける。



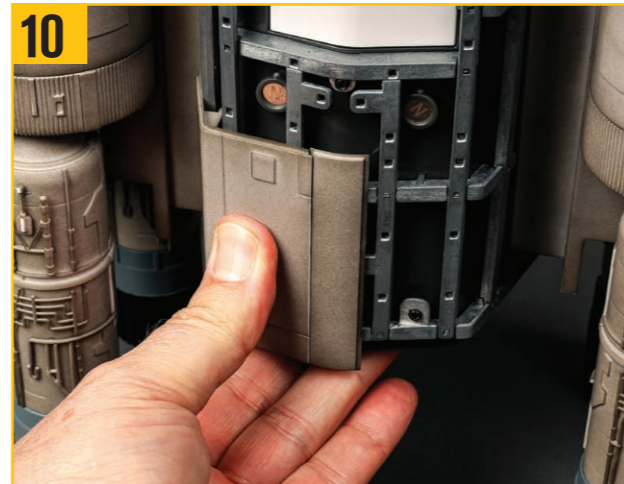
左舷と右舷の後部胴体パネルを写真のように並べる。



右舷後部胴体パネルを写真の位置に合わせ、後部の長い位置決めピン(矢印)が金属フレームの後ろに収まり、他の位置決めピンがフレームの穴に合うようにする。



ピンをフレームワークに取り付ける。



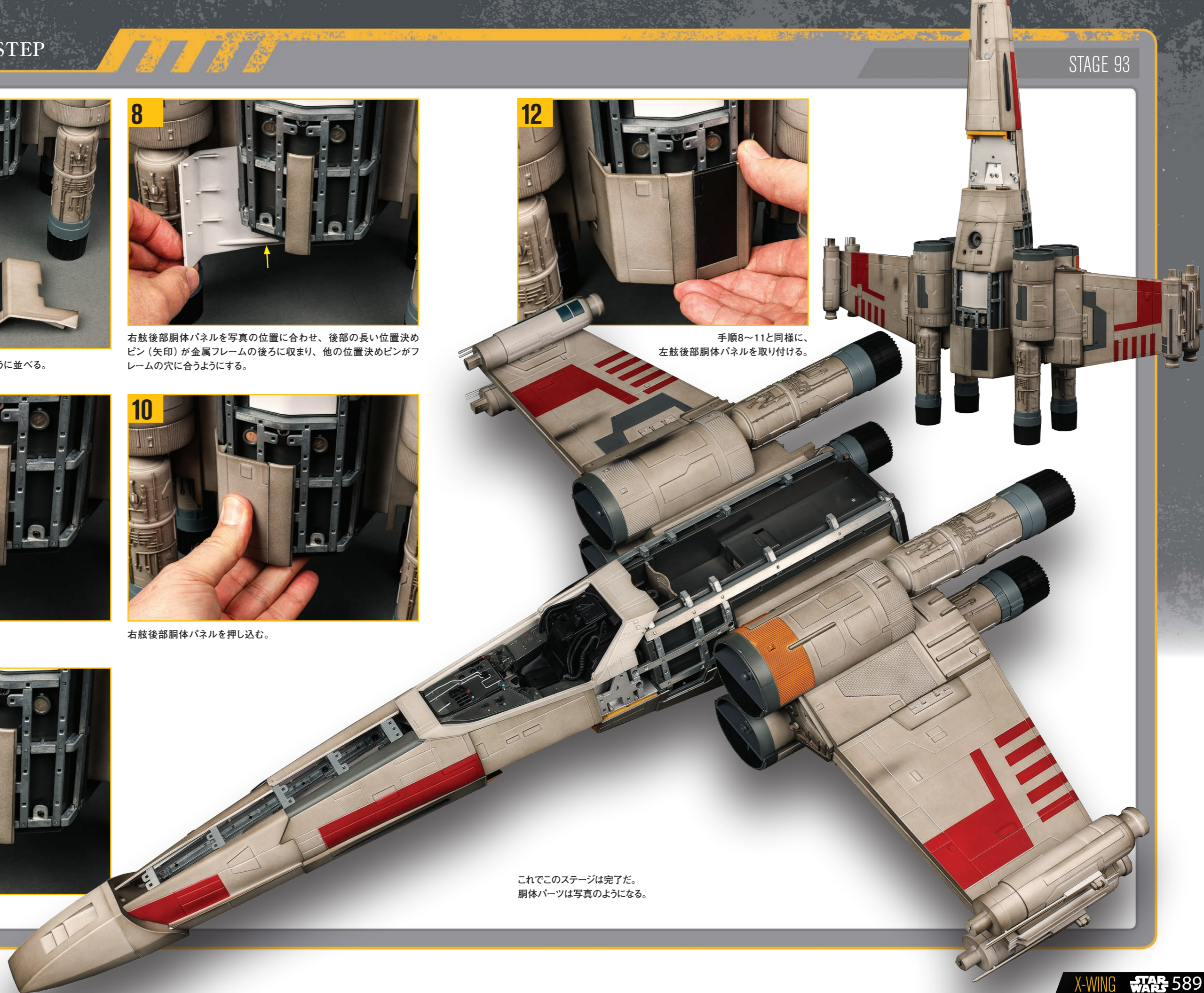
右舷後部胴体パネルを押し込む。



パーツは写真のようになる。



手順8~11と同様に、左舷後部胴体パネルを取り付ける。



これでこのステージは完了だ。
胴体パーツは写真のようになる。

胴体パネル

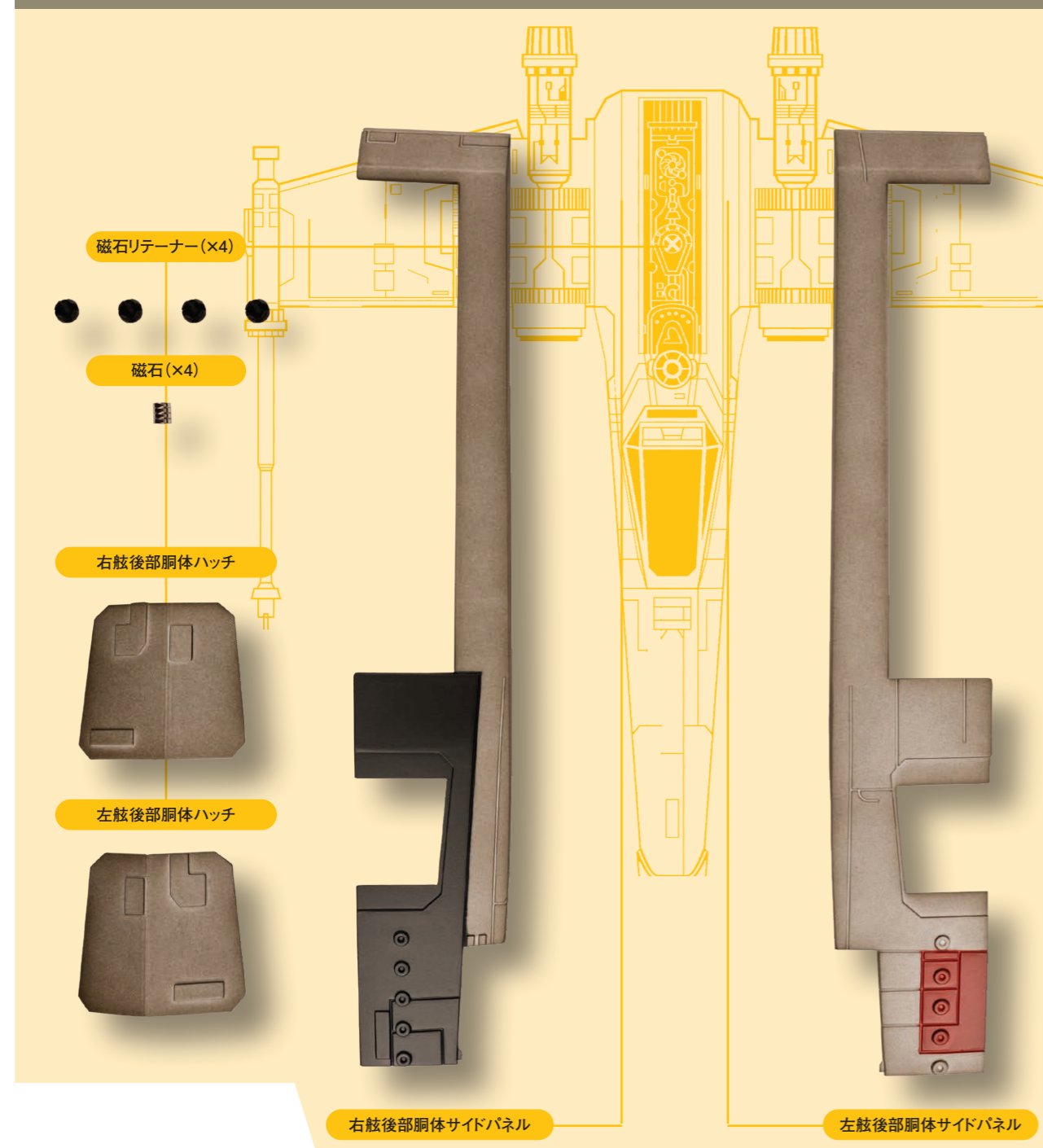
X-wingの船体フレームはチタン合金の装甲で覆われ、メンテナンスを容易にするために多くの独立したパネルで構成されていた。スターファイターは深刻な損傷から船体を守るために、シールド投射装置に頼っていたが、装甲はそれ自体で小さな衝撃に耐えるのに十分なほど頑丈であった。

後部胴体サイドパネル

提供パーツは、Sフォイルの上翼付け根の上部に取り付ける後部胴体パネルの左右パーツである。また、コックピットキャノピーと魚雷ベイの磁石リテーナーも取り付ける。

ステージ94の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

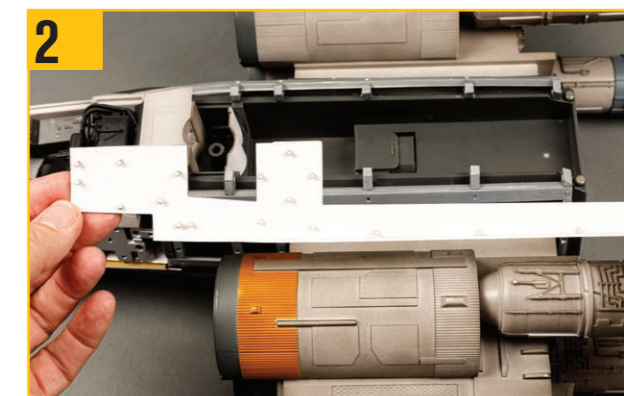


パネルの取り付け

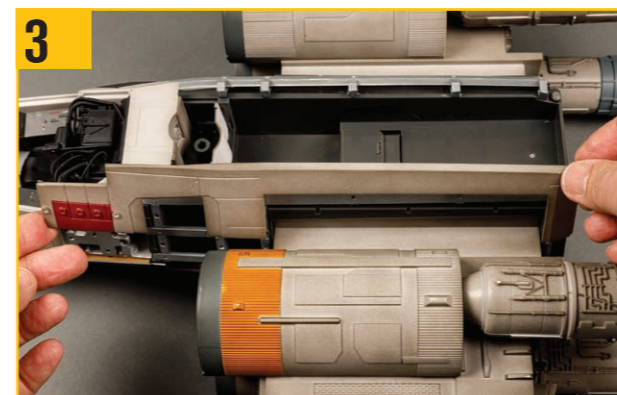
パネルは単純な押し込み式だが、すべての位置決めピンをフレームワークの穴に合わせる必要がある。手順8で示すように、強度を高めるために少量の瞬間接着剤を使用してもよいが、これは必須ではない。



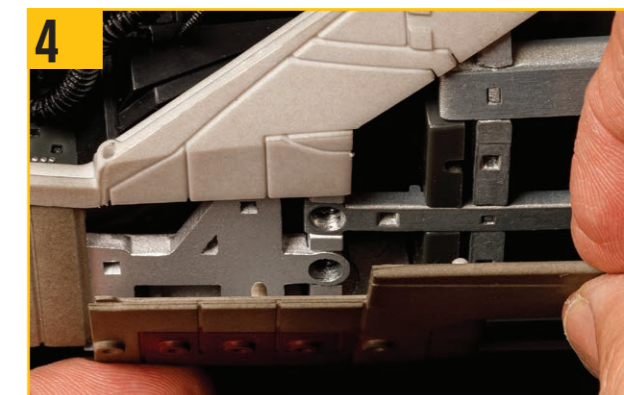
1 提供されたすべてのパネルパーツを用意する。



2 左舷後部胴体サイドパネルを用意する。このパーツには、フレームの穴に合う多数の位置決めピンが付いている。



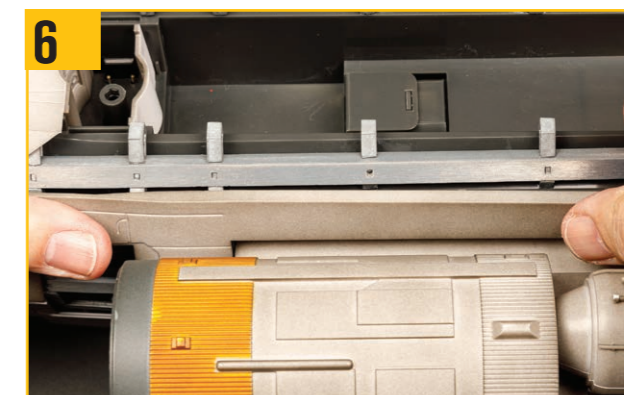
3 翼の付け根にパネルを差し込む。



4 前端を写真のように合わせる。



5 前方のピンを穴に合わせ、左上の小さなタブをコックピットサラウンドの下に押し込む。



6 金属フレームワークに沿ってパネルを取り付ける。



最後の位置決めピンをフレームの端に取り付ける。



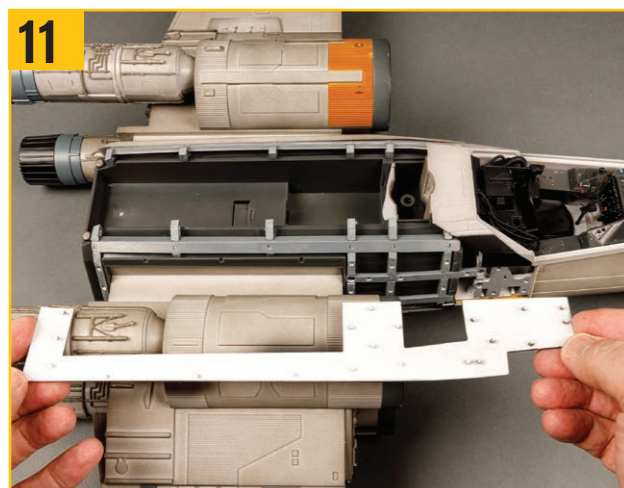
長辺に隙間ができないように、位置決めピンに楊枝で瞬間接着剤を一滴垂らすとよいだろう。



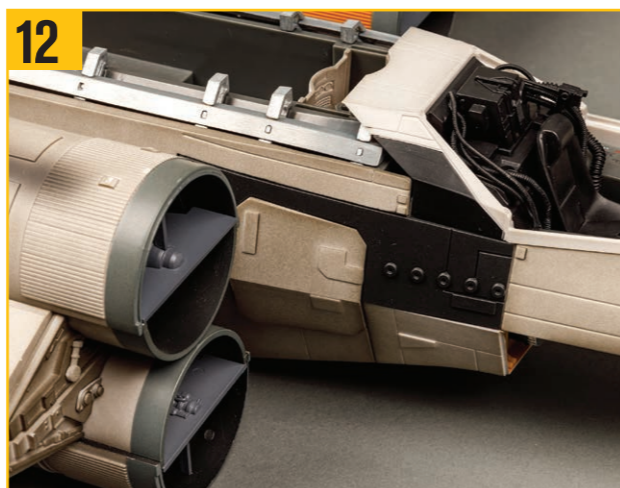
エンジン前の穴に取り付ける、左舷後部胴体ハッチを用意する。



ピンをフレームの穴に合わせ、しっかりと押し込む。



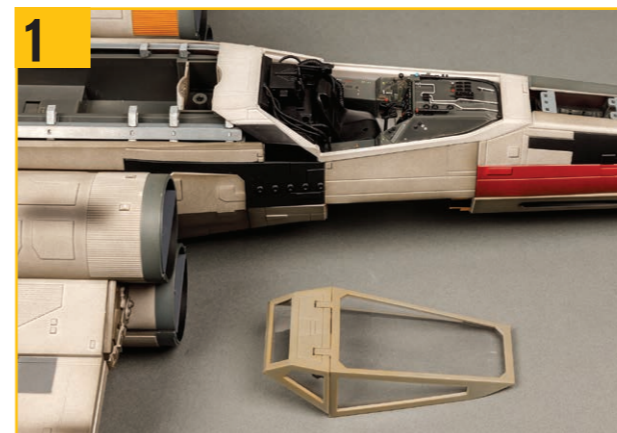
次に、右舷後部胴体サイドパネルを用意する。



手順2～10と同様に、右舷後部胴体サイドパネルとハッチを取り付ける。

キャノピーの取り付け

ヒンジ付きキャノピーをコックピットに取り付ける準備ができた。



ステージ35で組み立てたコックピットキャノピーパーツを用意する。



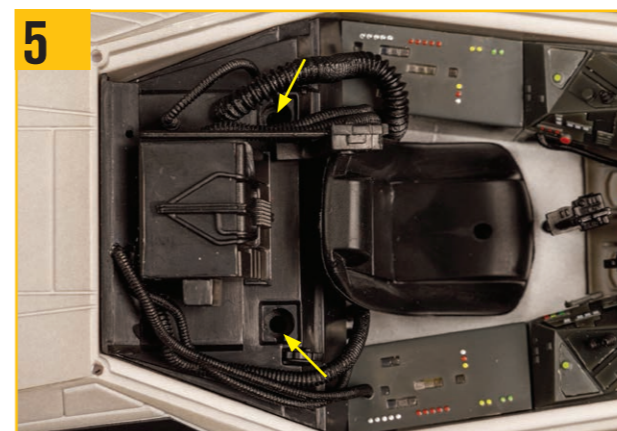
キャノピーを裏返し、2つの油圧式ストラットにアクセスする。



ストラットを2本のピストンロッドから一時的に引き抜く。



下端(黄色の矢印)はピボットピン(赤色の矢印)が横向き状態でコックピットの後部に収まる。



左右丸い穴の外側に、四角い切り欠きがあることを確認する。



ストラットの1つを右舷の穴に取り付け、手順4で示した、正しい向きに収まっているかを確認する。



7 もう一つのストラットを左舷の穴に取り付ける。



8 コックピットの後部は写真のようになる。



9 コックピットキャノピーを用意し、2本のピストンロッドをストラットの穴に合わせる。



10 キャノピーの後端をコックピットサラウンドに合わせ、角にある位置決めピンを穴に合わせる。



11 キャノピーの後部をしっかりと押し込む。



12 キャノピーがスムーズに閉じ、ぴったり合うことを確認する。

磁石の取り付け

この磁石は、魚雷ベイを固定し、簡単に取り外せるようにするためのものである。各磁石は円形のリテーナーに収まり、コックピットの床下のくぼみにはめ込まれる。



1 4つの磁石とリテーナーをすべて用意する。磁石には、片側にN極を示す文字「N」の刻印があることを確認する。



2 リテーナーと磁石を用意し、「N」の刻印がある面が上になるようにする。



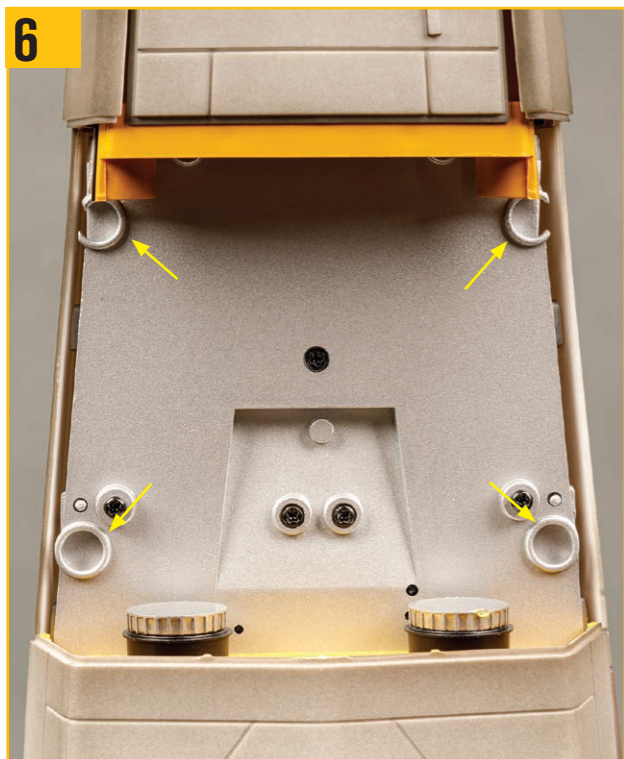
3 リテーナーの4つのクリップの間に磁石を取り付ける。



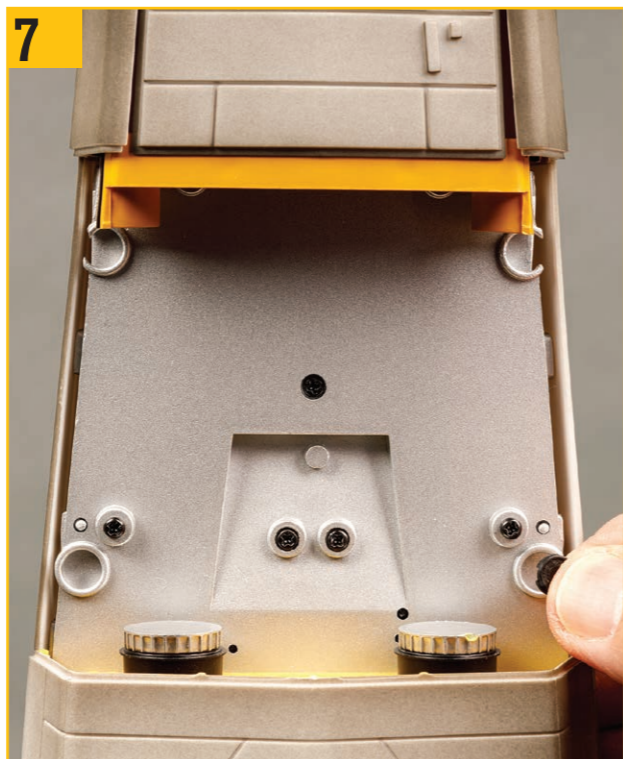
4 磁石をしっかり握り、ぴったりとはまるように押し込む。



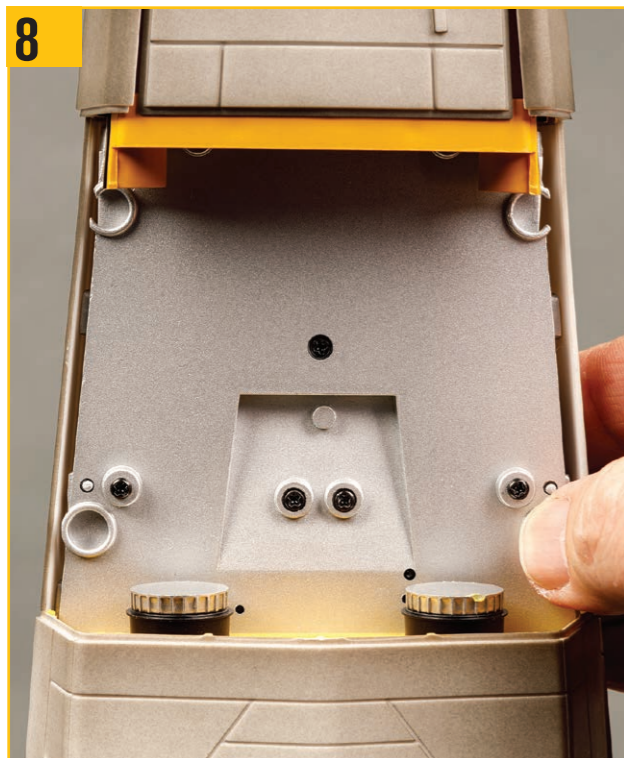
5 手順2～4と同様に、残りの3つの磁石を取り付ける。



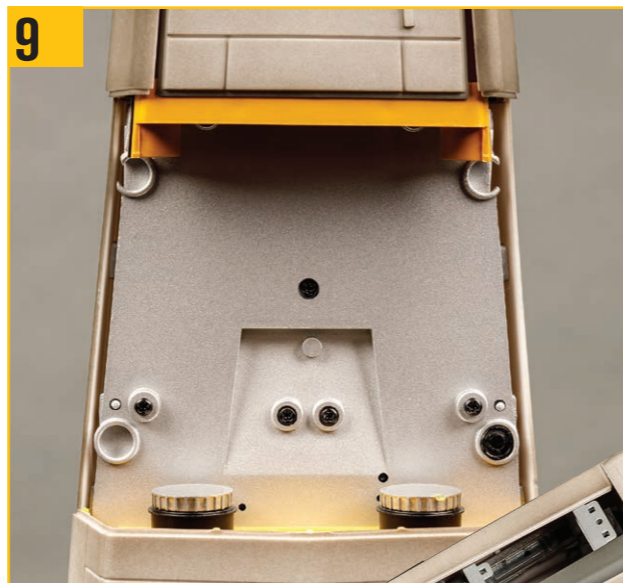
6 コックピット床下の4つの円形のくぼみを確認する。



7 リテーナーの1つを用意し、磁石が下側になるようにリテーナーをくぼみに合わせる。



8 リテーナーをしっかりと押し込む。



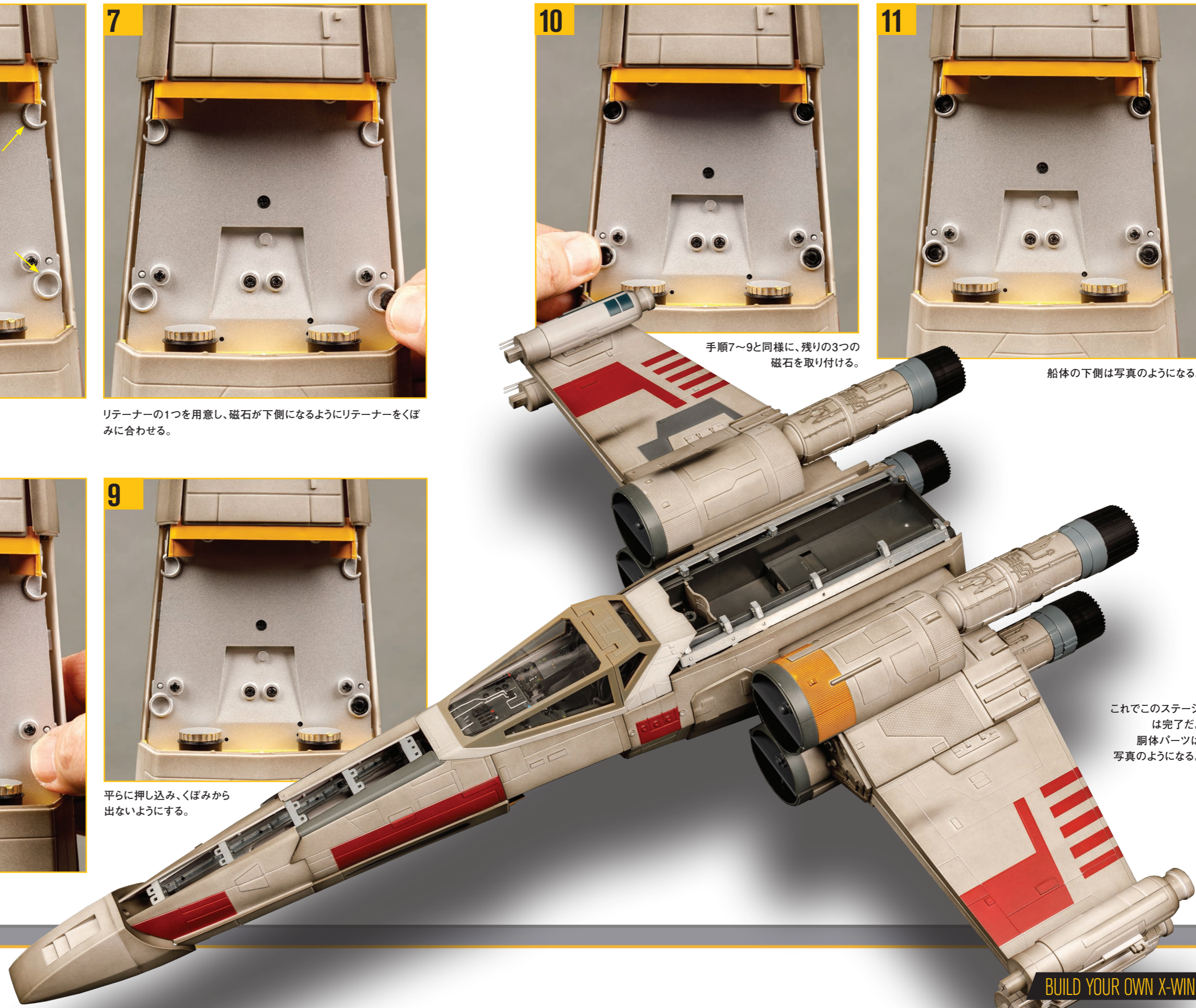
9 平らに押し込み、くぼみから出ないようにする。



10 手順7~9と同様に、残りの3つの磁石を取り付ける。



11 船体の下側は写真のようになる。



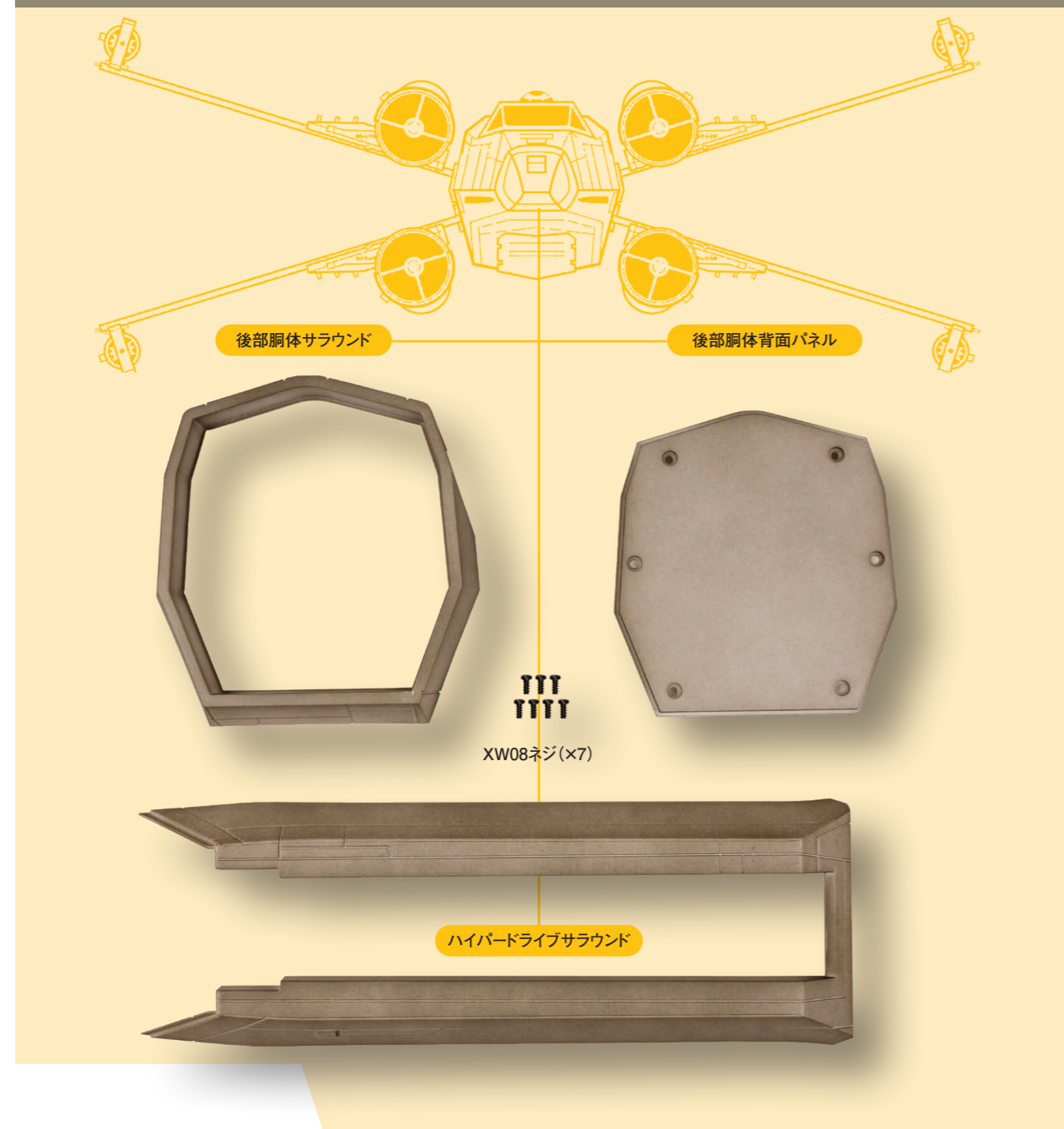
これでこのステージは完了だ。胴体パーツは写真のようになる。

後部胴体パネル

提供パーツはハイバードライブユニットの周辺を囲むように、後部胴体に取り付けられる。後部胴体の背面パネルの表面は滑らかで、次のステージで固定するベースパネルとディテールパーツの取り付け部がある。

ステージ95の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのを見よう。

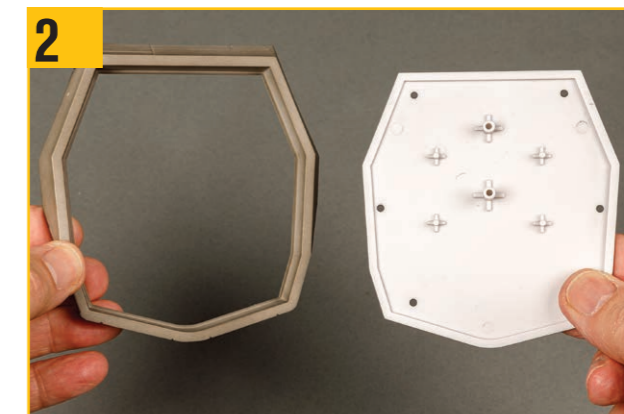


パネルの取り付け

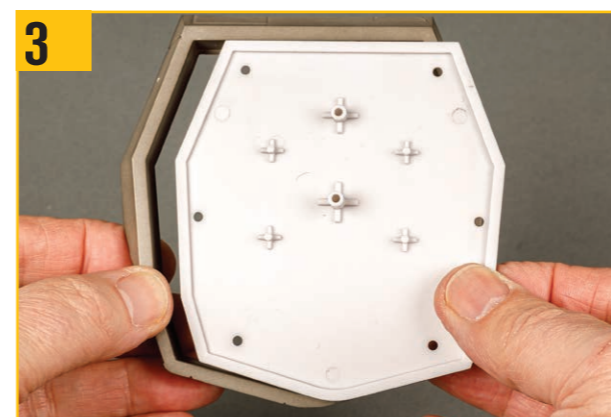
まず、背面パネルとサラウンドを胴体にネジ止めする。次に、ハイバードライブをハウジングにはめ込み、ハイバードライブサラウンドを取り付ける。これは磁石で固定されるため、点検時に内部ユニットを簡単に取り外すことができる。



すべての提供パーツと、ステージ86で組み立てたハイバードライブユニットを用意する。



後部胴体サラウンドと背面パネルを用意する。



写真のように背面パネルを後部胴体サラウンドに取り付ける。



2つめのパーツをしっかりと押し込む。



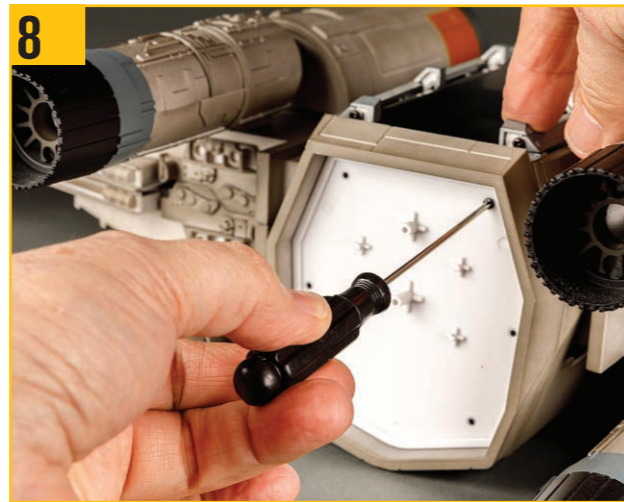
手順4のパーツを後部胴体に合わせる。



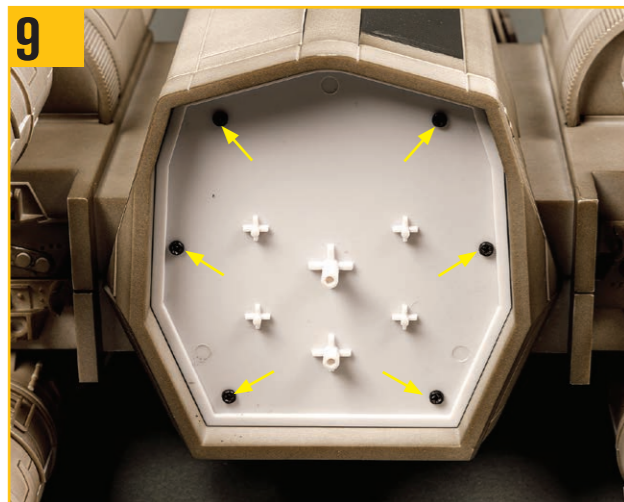
写真のように、背面パネルを合わせる。



7 後部胴体サラウンドが胴体パネルと平らに収まっていることを確認する。



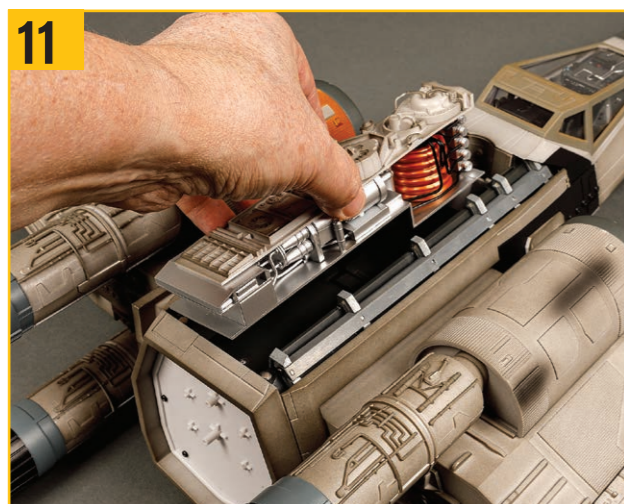
8 XW08ネジを使用して、背面パネルを後部胴体に固定する。



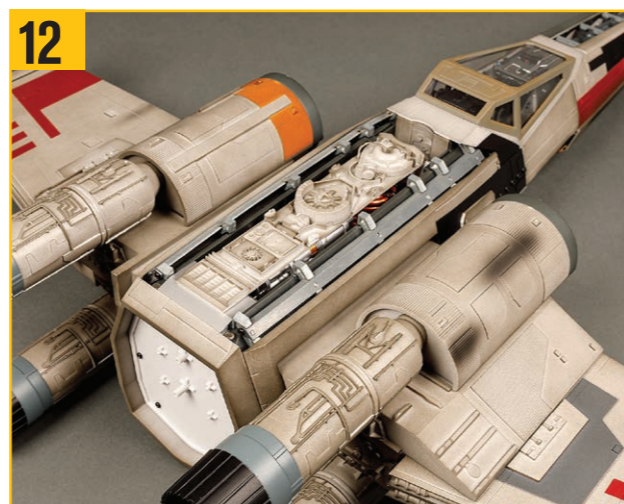
9 写真の6カ所を固定する。



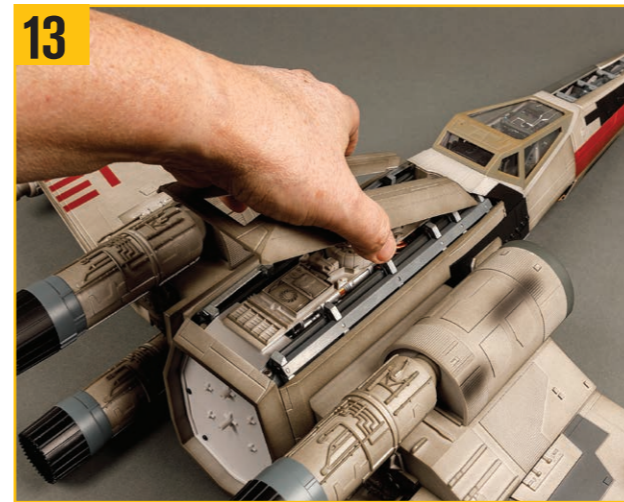
10 後部胴体サラウンドがパネルとすべて同じ高さになっていることを確認する。



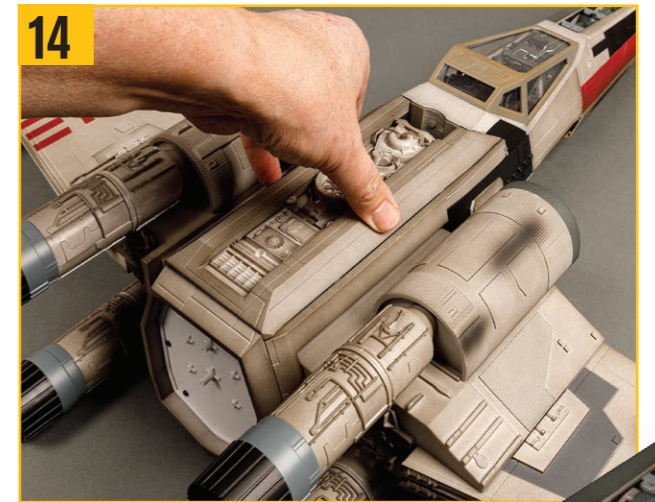
11 ハイパードライブを胴体上部に取り付ける。



12 ハイパードライブが下までしっかりと収まっていることを確認する。



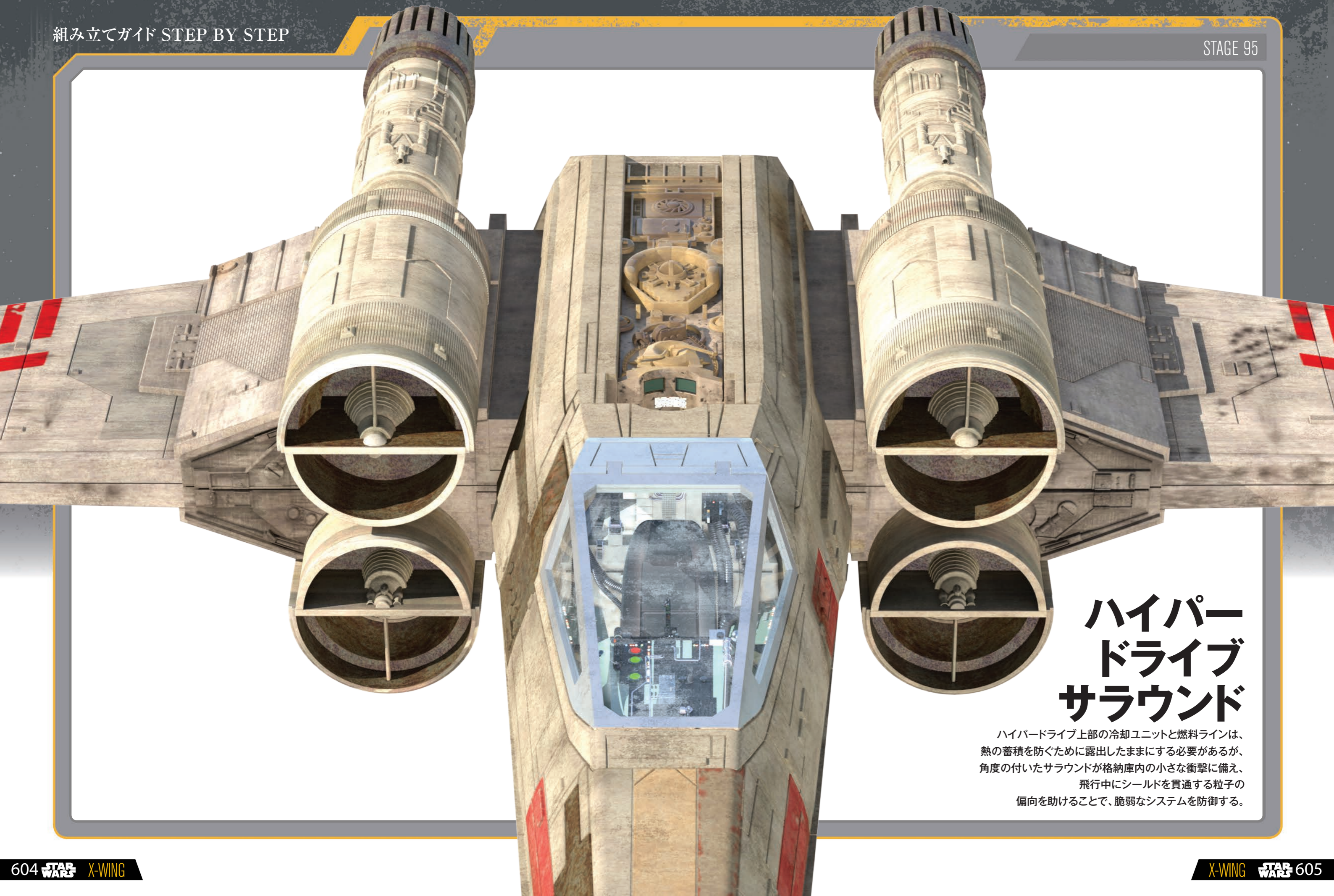
13 ハイパードライブサラウンドの2つの尖った端をコックピットの後ろのパネルの下に合わせる。



14 ハイパードライブサラウンドを押し下げて、後部の2つの磁石で固定する。



これでこのステージは完了だ。胴体パーツは写真のようになる。



ハイパー ドライブ サラウンド

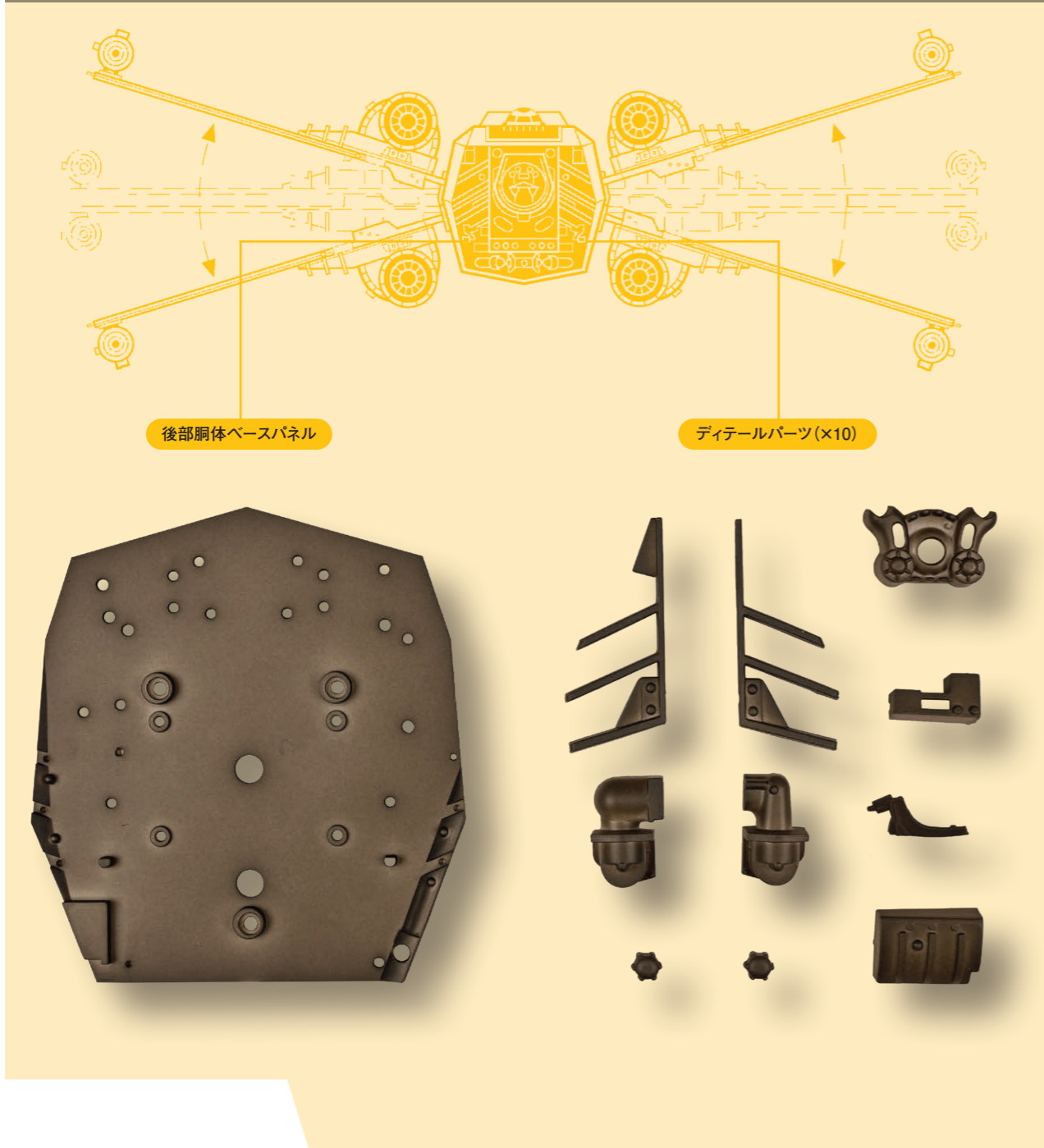
ハイパードライブ上部の冷却ユニットと燃料ラインは、熱の蓄積を防ぐために露出したままにする必要があるが、角度の付いたサラウンドが格納庫内の小さな衝撃に備え、飛行中にシールドを貫通する粒子の偏向を助けることで、脆弱なシステムを防御する。

後部ディテールパーツ

提供パーツで、ベースパネルに複雑なパイプや機械類が配置された、後部胴体のディテールを作り上げる。

ステージ96の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのを見よう。



ディテールパーツの取り付け

すべてのディテールパーツは、位置決めピンを穴に押し込む単純な押し込み式だが、パーツをより固定するために、数滴の瞬間接着剤の使用をお勧めする。



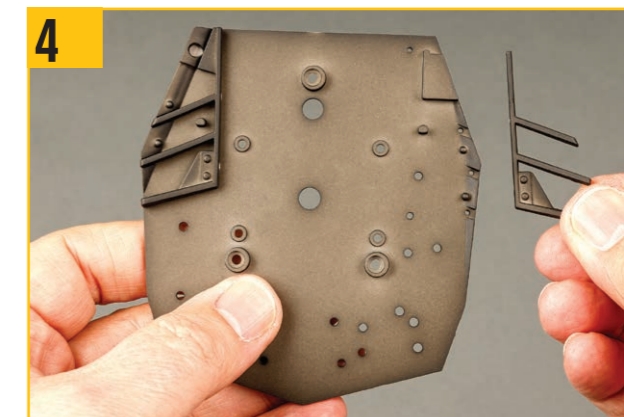
すべての提供パーツを用意し、写真のように並べる。



まず、分岐パイプを用意し、写真のように位置決めピンと穴を合わせる。



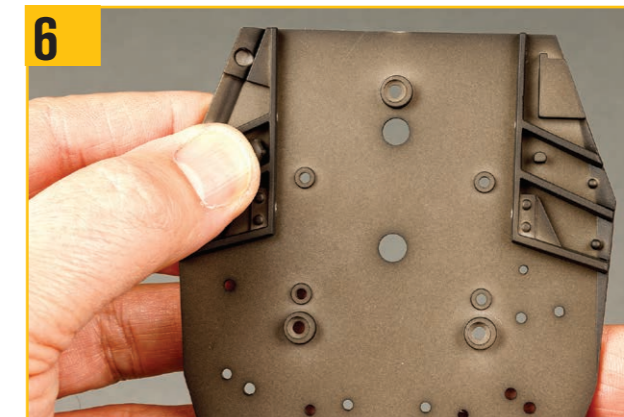
ぴったり合うようにディテールパーツを押し込む。



同様に、2つ目の分岐パイプを取り付ける。



星型のディテールパーツを矢印のピンに合わせる。



パーツをしっかり押し込む。



手順5～6と同様に、右側のディテールパーツを取り付ける。



長方形のディテールパーツを写真の穴に合わせる。



パーツをしっかり押し込む。



写真のディテールパーツを手順9で取り付けられたパーツの下の穴に取り付ける。



パーツは写真のようになる。



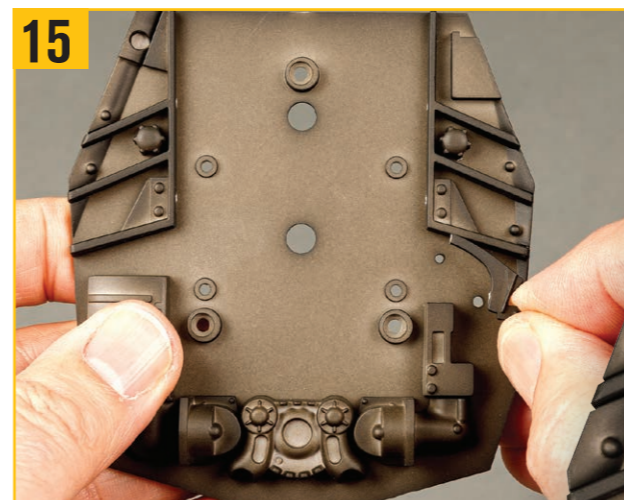
写真のディテールパーツを中央に取り付ける。



手順10～11と同様に、写真のディテールパーツを取り付ける。



その上に「L」字型のディテールパーツを取り付ける。

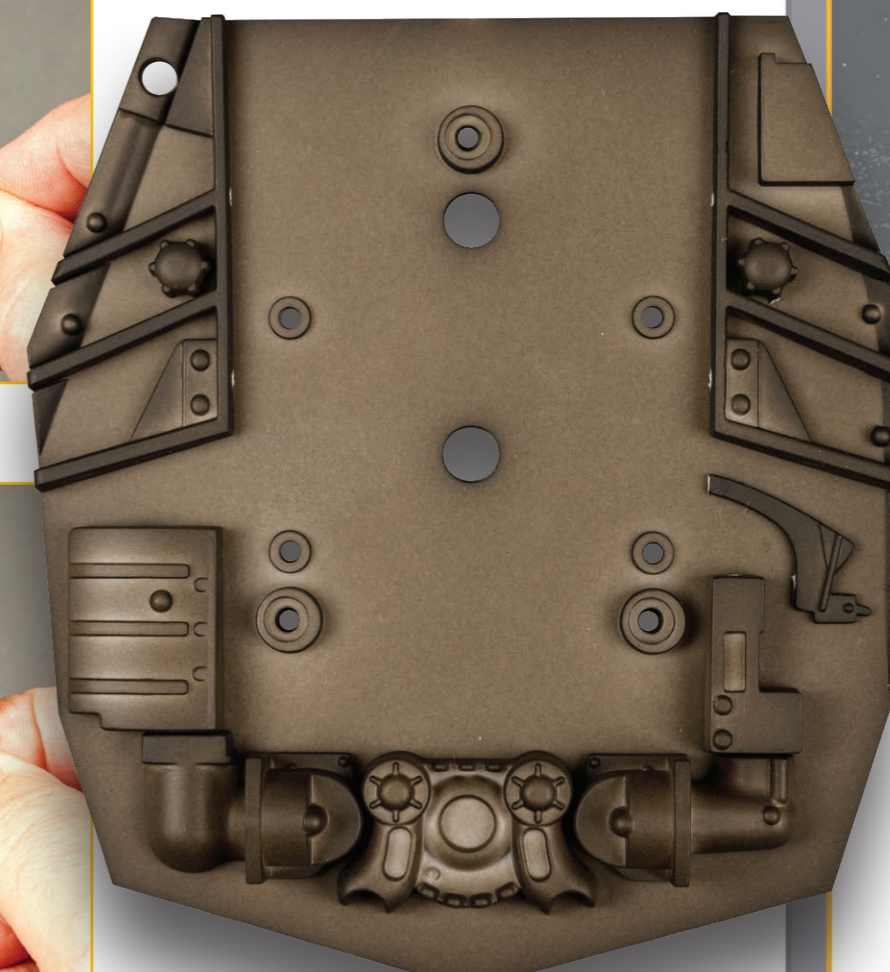


湾曲したディテールパーツを写真の穴に合わせる。



パーツをしっかり押し込む。

これでこのステージは完了だ。
後部胴体ベースパネルは写真のようになる。



後部胴体

滑らかな装甲パネルで覆われている胴体の他の部分とは異なり、X-wingの後部には、ハイバードライブや燃料ポンプなど、内部の機器やシステムにアクセスしやすいよう、ハッチと通気口が多数露出している。

